

平成26度 夏の特別活動 実施報告

1. 事業の名称：平成26年度 夏の長期休暇中の特別活動
2. 事業主催：NPO法人にじと風福祉会
(協賛)：八千代肢体不自由児者父母の会(ひよこの会)
3. 事業の趣旨、目的 **夏を思いっきり楽しもう**
 - ① 夏休みの間、家庭内のみで過ごすことなく、生活のリズムを維持する。
 - ② 外へ出て、友達や家族以外の人々と楽しむ機会とする。
 - ③ 保護者と子どもの一対一の精神的負担の軽減、及び親睦・研修
4. 事業の実施総括
 - ① 平成15年から、親子教室ではなく親子の互いの独立・子どもの自立を視野にいれた特別活動とした。保護者には給食作り等でご協力を頂いた。
 - ② 職員・Vの体制が整わず、苦労したが相互の協力の下カリキュラムの進行を行えた。
職員間の取り組みがよく体操、軽作業が実施できた日が多かった(改善された)
職員間の取り組みが悪く進行表が作成されない日が多かった(要改善)
夏期休業中のみ協力して頂けるボランティア研修生の協力が多くなった。
 - ③ 夏季休暇中の一泊旅行は、特別活動から離し「行事」として行った。
(夏の親子一泊旅行の報告参照)
 - ④ 法人として昨年より1事業所開設し4事業所で事業を開始し初めての夏休みを経過した。
各事業所15-16人づつ(内日中一時等の利用者も含む)
障害特性の違い年齢による違いによって内容を全く変えて実施することができた。
職員の増員、配置が夏休み前になされた1つの成果である。
 - ⑤ ある保護者からVとして参加してみて中の様子が良く分かってよかった、との声あり。
給食お当番の事前連絡の方法に配慮が必要。仕事の都合がつかない等はあったが職員等も協力して実施。子どもたちからはカレーでもご家庭により様々な違いがありうれしそうだった。職員もご家族の協力がうれしく子どももお母様の協力がうれしく来年も実施したい。我が子に対する見方もかえるキッカケになります。
給食作成場所をさくらの風で実施。台所が広く使いやすく好評であった。
にじと風を使用しないのににじと風での事業が落ち着いて実施できた。
 - ⑥ 開所は7~21時まで、特別活動は10~16時30分までとして、本人の業後への対応、親の就労支援への配慮を行った。職員・Vへの負担は増えたが利用者には好評であった。
 - ⑦ 夏の特別活動から新たに利用する人が増えた(平均41人/1日)。一方でこの期間ほとんど利用しない人もでてきた。
 - ⑧ 障害児の「放課後」、「休日」はどうしたらいいと思うか、皆さんの“こうであってほしい” “こうきたい”という方向にもって行きましょう。そのためには利用者が、その保護者がニーズをハッキリ言うことが前提となります。
そして目の前の事だけでなく将来を見据えた新たな運動の展開に繋げましょう。
 - ⑨ 子どもが何より楽しみなプールが、公園等への外出の機会を減少させた。
進行表の作成、事前準備、実施、振り返り、修正を毎日行うのは努力を要したが
夏季休暇中軽微なけが事故が昨年度にくらべて少なかった。 **軽微な怪我 2回**
外出時には1対1を守れなかった。外出時無外1回 **熱中症等なし**
入所先での発熱保護者連絡取れず緊急問合せあり **車両事故なし**
 - ⑩ 延べ約100人のボランティアの方々協力無しにはできない事業であり何時ものことながら感謝にたえない。
 - ⑪ 今年度は初任者研修、教育実習生、インターンシップ学生の利用が多かった。
 - ⑫ 職員の進行については多々反省あり。
いくつかの行事では当日の準備、点数表作成、賞状作成等が整い利用者が十分に楽しむ時間を共有できた。
各行事において相手先との連絡、進行表の作成等1名職員が担当したが昨年に比較し雑であった。支援の質の向上に結び付かない。
 - ⑬ 外出時、保護者に弁当持参を依頼した。残さず食べ嬉しそうなお子供達が印象的。
給食ボランティア保護者の負担の軽減のために調理実習をカリキュラムに取り入れた所利用者にも好評であった。
 - ⑭ お盆期間毎日開所し、利用者を受入れた。平常開所日は人数が多く出来ない事が出来た。
3人から5人で遠くへのお出かけ等。職員の負担は大きかったががんばってくれた。
きぼーる、ポータタワー、幕張宇宙博等
 - ⑮ 保護者の好意によるラーメンデリバリー、はプロの味
美味しく有難かった。子どもたちにはサプライズ!
 - ⑯ 今年は流しそうめんが竹を探しに行き作るところから準備をし美味しくできた。
3度目子供たちが手順を覚えていた。美味しかった。

⑰動作法プールは今夏は実施できず職員研修もかねて平常研修として実施できた。

⑱休業中学校送迎はなかったが自宅送迎や早朝からの預かりが多く午前午後ともカリキュラム進行に支障をきたした。朝送迎終了11時帰り送迎開始16:30自宅着18時から19時、延長利用の方は21時までと最長12時間を過ごす子どもたちの体調管理に不安を残す

⑳さくらいろの風の事業はカフェと銭湯中心ににじと風では午前は夏休みの宿題、午後は普段できない遊び（床を線路だらけにして汽車を走らせるなど）をした。

21 他の放課後等デイサービス事業所との合同事業が実施できた。 まだ1つの遊びを共同で楽しむまでには至らないが機会があればこのような機会を増やしたい。

5. 事業の実施日、時間

		長期休日活動		居宅、移動
		児童デイ	一時預り	
前期	7/21(月)～7/31(木)中の9日間	10:00-16:30	7:00～21:00	
後期①	8/1(金)～8/8(金)中の7日間	10:00-16:30	7:00～21:00	
後期②	8/18(月)～8/30(土)中の11日間	10:00-16:30	7:00～21:00	

6. 事業の実施場所：にじと風施設、その他

7. 事業の内容	9:00- 9:45	スタッフ・V打合せ、準備
①日課	9:45-10:00	利用者集合、受付
	10:00-10:20	朝の会、健康観察
	10:20-10:50	体操（時間をかけてゆっくり体をほぐす）、水分補給
	10:50-12:00	カリキュラム(午前)
	12:00-13:00	昼食、休憩
	13:00-16:00	カリキュラム(午後)
	16:00-16:30	帰りの会、水分補給、送り出し この間利用者いる場合あり
	17:30-18:00	後片付け、連絡・反省会（運営日誌記帳）